

【NEWS RELEASE】

2021年4月30日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社アドバンテックに「SDGs推進シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社アドバンテック（代表取締役：山名正英・首藤 信生）に「SDGs推進シンジケーション」を実施いたしました。

「SDGs推進シンジケーション」は、シンジケートローン実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、株式会社アドバンテックについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 太陽光発電事業の推進・拡大による再生可能エネルギー普及と地域でのビジネス創出への貢献

目標7 エネルギーを みんなに そしてクリーンに	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
目標8 働きがいも 経済成長も	8.3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性およびイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。

- ② 「72時間防災システム」を活かした持続可能な街づくりへの貢献

目標9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.1 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。
目標11 住み続けられる まちづくりを	11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。

三井住友銀行では、「SDGs推進シンジケーション」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



全国に太陽光
発電所を展開



72 時間防災拠点として
市町村と協定



リソースアグリゲーター
として VPP 実証実験に参画

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。